



暑中お見舞い申し上げます

梅雨から、夏本番を迎える季節になりました。皆様には、日ごろから議会活動、後援会活動に対し、ご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、6月議会が6月11日から28日まで開催され、緊急雇用創出事業の補正予算や豊田地域医療センターの電子カルテシステム導入など重要な案件が審議され、すべてが可決されました。

私の一般質問では、「市の広告の積極的な活用」について質問しました。私の提案について、満足できる答弁は引き出せませんでした。これからも市民にとって良かれと思うことについては、引き続き主張していきたいと思っています。

なお、昨年同時期には豊田市議会会派「とよた市民の会」会報を創刊致しましたが、今年度につきましては、別の時期に改めて発行致します。ご承知おきください。

今後もさまざまな問題に対し、皆様と一緒に考え、活動したいと考えております。どうか今後とも、変わらぬご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

おかだ耕一 平成22年度役職

- ・環境福祉委員会 委員
- ・議会活性化特別委員会 委員
- ・予算決算委員会 委員
- ・公選法運用委員会 役員

5月臨時会、6月定例会におきましてこれらに選任されました。今年1年頑張っております

豊田市議会議員 岡田耕一

第3回 親睦マレットゴルフ大会のご案内

おかだ耕一後援会では第3回親睦マレットゴルフ大会を下記の通り開催致します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- と き：平成22年9月25日(土)〈予備日 26日〉
13時30分より17時頃まで(受付13時～)
- と ころ：河合池マレットゴルフ場 東コース(現地集合)
- 参 加 費：300円(参加賞あり)*お茶は各自でご持参ください
- 申込期限：平成22年9月11日(土)
- お申込み・問合せ先：森田 秋男 88-5797

とよた市民の会 無料法律相談のご案内

- ～派遣切り、生活相談もどうぞ～
- 【開催日】 7月10日(土)・9月11日(土)
10月 9日(土)
- ※8月はお休みです
- 【時 間】 午後1時30分～3時
- 【場 所】 豊田産業文化センター4階
- お問合せ 小林おさむ 80-5323

弁護士に無料で相談できます。完全予約制といたしますのでご了承下さい。ご希望の方は前日までにご連絡ください。

市政改革・とよた市民の会 市民講座のご案内

テーマ：「安全保障ジレンマからの脱却をめざす」～軍事力による抑止ではなく、共通の安全保障へ



一郎

市政改革・とよた市民の会(代表 おかだ耕一市議)の「日本の安全保障」についての市民講座第2弾は、NPO法人ピースデポ代表の湯浅一郎氏をお迎えして講演会を行います。わが国の安全保障を真正面から考える講演会にしたいと思っております。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

- と き：平成22年7月11日(日)13:30～16:30 (受付13:00～)
- と ころ：とよた市民活動センター研修室(松坂屋豊田店A館9階)
- 講 師：湯浅 一郎氏(NPO法人ピースデポ代表)
- 主 催：市政改革・とよた市民の会 連絡先：おかだ耕一市議

資料代：500円
090-2929-7529

会報配布 ボランティア の 募集

おかだ耕一後援会では「おかだ耕一後援会会報&議会報告」を年4回発行しています。現在、約60名の方々のご協力でご約2万部を配布していただいております。多くの皆さんに会報を読んでいただくため、年4回、おかだ耕一議員と一緒に美里、高橋、益富地区周辺および中心市街地で配布していただくか、ご自宅の周りの50～500戸ぐらゐの郵便受けに配布いただけませんか。

50枚～200枚ほどで30分～2時間程度です。配布する地域はご相談のうえ決めさせていただきます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。ご連絡をお待ちしております。 090-2929-7529

1. 税収だけに頼らない歳入確保を! ～本市の広告への取り組みを問う～ (答弁は福嶋総務部長、井上市民部長)

本市財政は平成20年秋のリーマンショック以降、かつてのような税収が見込めず、21年度、22年度には多額の基金の取り崩しや100億円を超える市債を発行するなど大変厳しい状況が続いている。

私は、このような財政状況になる以前から、積極的な行財政改革の取り組みを求め、さまざまな提言をしてきた。その中の1つとして、税収だけに頼らない歳入確保の観点から企業広告等の積極的な活用を訴え続けてきたが、やっと本市でも私の提言が実現しつつある状況だ。ただ、他市と比較すると取り組みが消極的と言わざるを得ない。

平成22年度新規広告事業の状況

質問 今年度は、市の広告活用として、3つの新規事業が取り組まれている。①市ホームページのバナー広告、②市職員給与支給明細書への広告掲載、③庁内及び関係先配布用・予算のあらしへの広告掲載である。①②③それぞれについて、どのように広告を募集し、何社から応募があり、いくつで落札されたか。

答弁 ①「市ホームページのバナー広告」は、広告業務としての入札参加資格を有する業者のうち、市内に本店があり、過去1年間の売上が5,000万円以上で、本市において広告業務として実績のある6社に対して入札参加を依頼した。結果、3社の入札があり529,200円で落札された。

答弁 ②「市職員給与明細への広告」についても、バナー広告と同様の条件で6社を選定し、入札参加を依頼した。結果、3社の入札があり588,000円で落札された。

答弁 ③「予算のあらし」は、「バナー広告」等とは異なり、あらかじめ市が指定した価格で、広告代理店を通じて広告を募集する方式を採用した。広告代理店については、①②と同様の基準により選定した6社に対し参加の意思を確認。参加申請があった2社を広告代理店とし、1枠1万円ですべて6枠の広告募集を行った。結果、5枠の応募があり、合計5万円の歳入となった。

現行の広告事業の問題点を指摘する

質問 バナー広告については掲載位置に問題がある。他市の事例を見れば、トップページを開けばそのままバナー広告が目に入る位置に掲載されているが、本市はホームページのかなり下部の位置に広告が掲載され、目にとまりにくい。また、予算のあらしの広告も1,000部しか印刷されない庁内及び関係先配布用だけでなく、全市民向けを対象にすれば、より多くの地元企業が



▲ 右上段の枠がバナー広告
徳島市広報広聴課提供

関心を示し、市の広告収入増加とともに、地域の活性化にも寄与すると思う。これらの見直しを求め、3事業の現段階での評価、所見を伺う。

答弁 「広告事業による歳入確保」を進めるにあたり、「採算性の確保」「広告の及ぼす影響への配慮」「行政の信頼性や公平性・公正性の確保」など、多面的な要素に配慮することも意識し、3つのモデル事業を実施した。モデル事業の評価は、時間をかけて行う必要があると考えている。しかし、現段階で得られたこともある。例えば「バナー広告」の落札額は予算計上額よりもかなり低く、近隣他市と比較しても低額となっている。これは現在の景気後退の影響に加え、今回広告代理店を市内業者に限定したことにより、結果的に広告主となる業者の規模も小さくなったことが影響していると考えます。

一方、「給与明細書での広告」は、予算額の倍以上の価格で落札されたが、これは落札業者に対する聞き取りによると、給与明細書のようにその広告媒体を見る対象者がはっきりしている場合は、広告掲載によるメリットを予見しやすいため、比較的高い価格での入札が行いやすいことであった。今回のモデル事業の経験を今後の広告拡大において十分に活かしていきたい。

広告付窓口封筒の実績

質問 広告付窓口封筒は、市民課等に備え付けられている住民票などを入れる封筒で、本市では、平成18年3月に導入された。年間の印刷枚数、使用枚数ならびに経費削減効果は。また、効果についての行政評価と市民からの声は何かあるか。



答弁 毎年の印刷枚数は約24万枚、使用枚数は約22万枚で推移している。経費削減効果としては、従来負担していた窓口封筒作成に係る経費が、無償提供を受けることで毎年80万円。また、封筒発注事務や本庁・支所等あわせて15カ所における在庫管理事務に係る事務量等の削減があり、これらをあわせると年間で100万円を超える削減効果がある。

行政評価については、先ほど説明した経費削減のほか、(1)封筒作成、在庫管理、支所等への配送など職員の事務負担を軽減するなどの効果をあげている。(2)行政から市民に発信したいメッセージや、施設の紹介など、無償で掲載できる。(3)大半は地元企業の広告が掲載されており、地元企業のPRや地域支援にも役立っている。市民評価については、特段広告掲載についての意見は聞いておらず、市民からは一定の理解を得ていると考える。

広告代理店を公募せよ!

質問 平成18年3月の導入以来、広告代理店を(株)郵宣企画に限定しているが、競争原理を導入すべきだ。今後、代理店を公募する考えはないか。

答弁 22年度分からは公募での対応を考えている。

質問 広告代理店を公募する際の条件として、本市は地域経済への貢献も考えるべきだ。代理店は印刷業者を市内業者にするなど条件をつけてはどうか。

答弁 印刷業者を市内業者に限定すると、代理店は封筒の大量印刷によるスケールメリットが活かせないので印刷コスト増の影響が予想される。結果、豊田市に納入される封筒の品質低下も考えられるので、印刷業者を市内業者にするなどの条件の付加は考えていない。しかし、公募に参加した複数の代理店の中から1社を選定する際の評価ポイントとして、市内印刷業者の利用も考慮したい。

さらに収益性を考えた広告封筒の入札を求める

質問 公募は、封筒の無償提供ではなく、広告掲載料として、市への支払いを条件とした競争入札をすべきだ。

答弁 現在の無償提供により広告付封筒を納入する方法でも一定の費用削減が図られており、有効である。今後は広告掲載料を付加する方法と、現行の方法について、費用対効果や募集する媒体、作成する部数なども含めた検討を行い、市にとって最も効果的な手法を選択したい。

広告掲載事例の導入可能性を問う

質問 多くの自治体で導入されているエレベーター壁面への広告掲載、玄関マットへの広告掲載、納税通知書等への広告掲載を本市でも導入できないか。



▲ 広告付玄関マット



▲ エレベーター壁面広告(いずれも徳島市庁舎)

答弁 広告導入に際しては、次の3点を基本方針に掲げている。①広告媒体となる市の資産等は、それぞれの保有目的を持っており、広告掲載がその目的達成の阻害要因とな

らないこと。②広告掲載により、市の公平性、公正性が阻害されたり、市行政に対する信頼を損ねないこと。③広告事業による歳入と事業実施に必要な経費を比較して、収支がマイナスとならないこと。また、この他にも例えば提案のあったエレベーター壁面や玄関マットへの広告掲載などは、景観上の配慮も必要となる。しかし、財政が厳しいなか、新たな財源を積極的に確保することは重要なことであり、議員が提案された広告媒体は他の自治体で導入されている事例も多く、検討対象の1つであると考え。さらに、市が発行している各種パンフレットなど、広告媒体となるものは数多くあると考えるので、今年度行ったモデル事業を評価したうえで、新たな広告事業の拡大を判断したい。

質問 市民の暮らしに役立つ情報として、毎年7月に広報とよたと一緒に配布される「くらしの便利帳」は、広告主側にとっては、非常に有効な広告媒体となる。23年度は、是非、くらしの便利帳への広告掲載を求める。

答弁 「くらしの便利帳」については、広告を掲載し、タウン情報誌と一体となったものがないか、所管部局で調査・検討を行う。

コピー機、印刷機の用紙に広告を

質問 コピー機、印刷機の経費削減策としてコピー用紙の裏面に広告を掲載し、大学構内で学生向けにコピー代を無料にした「タダコピ」というサービスがある。また、オフィスや幼稚園向けに、裏面に広告やクーポン券を印刷した無料コピー用紙サービスもある。このようにコピー用紙というツールに広告を載せることで、手に取り、目に触れる機会が高くなるという広告主側のメリットと同時に無料用紙を利用することで事務用品のコスト削減という利用者側のメリットもある。私は本市でもこうしたサービスが導入できないか、「タダコピ」を展開している企業や市内に本店のある広告代理店3社にヒアリングした結果、十分検討の価値があるとのコメントをもらった。本市では、平成23年4月に契約が切れることも園・印刷機のリース契約がある。本市でも広告付用紙導入によるリース代等の軽減策を検討できないか。



▲ 学生に大人気の「タダコピ」。毎月、2万~5万枚があつという間になくなるという(愛知教育大学にて)

答弁 コピー用紙や印刷用紙の裏面などを利用した広告の実施という提案だが、現代社会における紙の大量消費は、限りある資源の有効活用や環境への配慮という視点からは、できる限り改めるべき問題である。そうした視点から、むしろ両面印刷や裏紙利用などを積極的に促進すべき。有効活用できる紙の裏面などを経済的理由から広告媒体として活用することには慎重な判断が必要と考える。

公園休憩所テーブル、ベンチへ製作費の寄付を募っては？

質問 とくしま動物園では、平成20年に休憩所を新設した際、「メモリアルベンチ」の製作費用にあてるため、特典付で寄付者を1口3万円で合計80口募集した。本市でも鞍ヶ池公園はじめ、公園、広場の整備の際に、こうした手法は使えるのではないかと。

答弁 公園や広場に設置するテーブルやベンチの寄付は、整備コスト削減の手法の1つであるとともに、「施設に対する愛着」や「市民の思いづくり」からも有効な手法と思う。本市では、おいでんまつりの花火で協賛を求めているが、これなども提案趣旨に通ずるものとする。今後、他都市の事例等も踏まえ、寄付を受ける公園、施設を選定し、実施に向けた検討を行う。



▲メモリアルベンチ
とくしま動物園提供

広告化についての市民アンケート実施を求める

質問 市民に対して、本市がすでに取り組んでいる広告の活用に関する意見・評価や今後、取り組むべき広告の活用について、ご意見を伺う機会として、100名いる「Eモニター」向けのアンケート調査や広報とよたに掲載し、全市民向けにアンケート調査を実施してはどうか。

答弁 今年度実施した3つのモデル事業のうち、「給与明細書」と「予算のあらまし」については、市民の目に触れる機会も少ないため、現在のところ広く市民に意見や評価を求める段階にはないと考えている。また、今後の広告拡大に関する意見募集についても、アイデアとしては他都市の先行事例など多くの例もあり、現段階で直ちに市民に意見を求める必要はないと考えている。しかし、今後広告事業が拡大していった場合に、その評価等について市民の意見を聞く可能性はあると考えており、その場合は現行のEモニター制度などを有効に活用していく。

ここが聞きたい！ 議員？ 豊田市政？

市民の疑問におかだ議員がお答えします

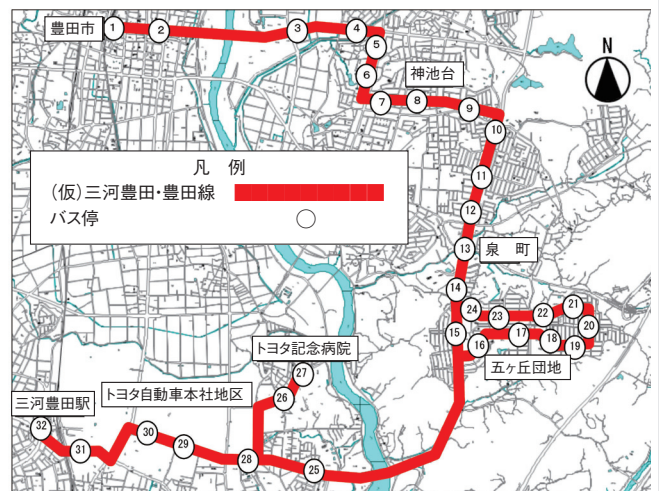
Q:美里地区に住む者です。以前、神池台経由でトヨタ記念病院行きの名鉄の路線バスがありました。廃止されて、ずいぶんたちます。トヨタ記念病院行きの路線バスの復活を期待していますが、どうにかなりませんか。

A:豊田市では、名鉄バス等との協議の結果、平成22年10月1日からおいでんバスとして、豊田市駅からトヨタ記念病院、三河豊田駅に向かう新規路線(路線図1)の運行開始をめざし、準備を進めています。使用するバスは、トヨタ自動車から燃料電池バス1台を借用し、これを運行事業者(バス会社)が運行する予定です。

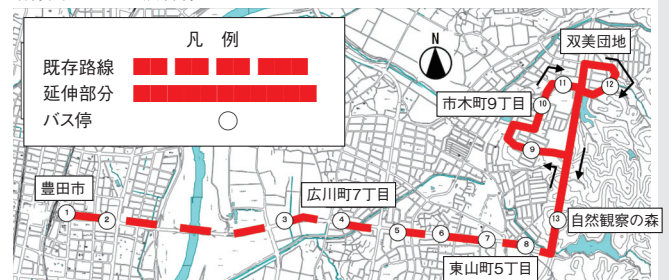
また、外環状線を通行していた旭・豊田線は路線を扶桑、平井、百々の各地区を通行するルートに変更し、利便性の向上をはかります。(22年10月1日運行開始予定)

さらには、豊田・渋谷線(路線図2)は路線を延長し、「自然観察の森」や市木町、双美町へのバス停を新設し、利便性の向上をはかります。(22年8月1日運行開始予定)

路線図1 (仮)三河豊田・豊田線



路線図2 豊田・渋谷線



おかだ耕一を支えるカンパは下記へお願いいたします

三菱東京UFJ銀行 豊田支店 (普通) 1113815 おかだ耕一後援会
郵便振替 00820-9-205061 おかだ耕一後援会
《他行からの振込口座 9900 089(当座) 0205061 オカダコウイチコウエンカイ》

カンパ頂いた方は通帳にはお名前しか表示されません。お礼を申し上げたいため、ご一報下さるようお願いいたします。政治資金規正法により、おかだ耕一後援会は、企業・労働組合等の団体からの寄付は受けられません。

《連絡先》

TEL/090-2929-7529
FAX/88-9194

(こーいち)

<http://www.ko1.org/>
E-mail:okada@ko1.org

市政に関するさまざまな
疑問、質問、要望、情報等
お気軽にお寄せください。